



# 図書室だより

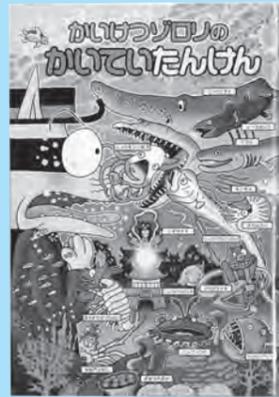


## 『うつヌケ』 田中 圭一：著（一般図書）



著者自身もうつ病脱出体験をベースに、うつ病から脱出に成功した人々取材・レポートしている。本書では、うつ病を体験して得た知識および対処法が記載され、また、うつ病に関する悩みを互いに分かち合い、勇気づけられることを漫画形式で紹介されています。本作に登場する人物は、著名人から一般の方まで、うつ病の症状のパターンも各々異なっているため、彼らの「うつヌケ」が具体的かつ分かりやすく紹介されているのも見所です。最近、長時間労働等が原因でうつ病や過労自殺の問題がクローズアップされています。自分自身を客観的に分析することで、最悪な事態だけは回避して欲しいと願っています。

## 『かいけつゾロリのかいていたんけん』 原 ゆたか・さく・え（児童図書）



いたずらの王者を目指すゾロリとイシシ・ノシシは、玉手箱とかわいい乙姫さまに会うために海の底へたんけんに出発！  
本書では、ゾロリたちが竜宮城を目指している道中には、深海に生息するダイオウイカやシンカイザメなどのへんてこな生き物ばかりに遭遇してしまう。果たして、彼らは無事に帰ってこられるのか？ 浦島太郎が竜宮城でどんなおもてなしを受けたのか知りたくないか？ 海の神秘をゾロリたちとともに皆さんにお見せしましょう！！ また、ゾロリシリーズでおなじみのなぞかけや思わず笑ってしまうダジャレも数多く掲載されています。

## 広野町図書室 平成29年9月新着本入庫一覧

書名	著者名	巻数	出版社
月の満ち欠け	佐藤 正午著		岩波書店
影裏	沼田 真佑著		文藝春秋
光のお父さん	マイティー著		講談社
怖い絵	中野 京子著		KADOKAWA
夜の谷を行く	桐野 夏生著		文藝春秋
男であれず、女になれない	鈴木 信平著		小学館
サビエンス全史	ユヴァル・ノア・ハラリ著	上	河出書房新社
サビエンス全史	ユヴァル・ノア・ハラリ著	下	河出書房新社
熊と踊れ	アンデシュ・ルースランド著	上	早川書房
熊と踊れ	アンデシュ・ルースランド著	下	早川書房
離れている家族に冷凍お届けごはん	上田 淳子著		講談社
かんたん冷凍作りおき	倉橋 利江著		新星出版社
「味つけ冷凍」の作りおき	藤井 恵著		文化学園文化出版局
忙しい人でもちゃんとできる☆栄養士のれしび☆の冷凍作りおき	上地 智子著		扶桑社
かいけつゾロリのかいていたんけん	原 ゆたか・さく・え		ポプラ社
ルルとララのようにそとタルト	あんびる やすこ作・絵		岩崎書店
ルルとララのアロハ！パンケーキ	あんびる やすこ作・絵		岩崎書店

書名	著者名	巻数	出版社
脳の専門家が選んだ「賢い子」を育てることばのえじてん	瀧 靖之監修		宝島社
トラのじゅうたんになりたかったトラ	ジェラルド・ローズ文・絵		岩波書店
ざっそうの名前	長尾 玲子作		福音館書店
よむプラネタリアム夏の星空案内	野崎 洋子文		アリス館
オニじゃないよおにぎりだよ	シゲタ サヤカ作		えほんの杜
おべんとうさんいただきます	堀川 真作 絵		教育画劇
つまないつまない	ヨシタケ シンスケ著		白泉社
ほしをめざして	ピーター・レイノルズ文・絵		岩崎書店
つきのよるに	いもと ようこ作・絵		岩崎書店
怪盗グルーのミニオン大脱走	澁谷 正子著		小学館
ぞくぞく村のにじ色ドラゴン	末吉 暁子作		あかね書房
ぞくぞく村のランプの精ジンジン	末吉 暁子作		あかね書房
ぞくぞく村の魔法少女カルメラ	末吉 暁子作		あかね書房
ぞくぞく村のかぼちゃ怪人	末吉 暁子作		あかね書房
しずくちゃん	ぎほ りつこ作・絵	28	岩崎書店
しずくちゃん	ぎほ りつこ作・絵	27	岩崎書店
しずくちゃん	ぎほ りつこ作・絵	26	岩崎書店
しずくちゃん	ぎほ りつこ作・絵	25	岩崎書店



### 図書室の開室時間について

開室時間は午前8時30分から午後5時15分となります。

### 10月の休室日のご案内

3日(火)・10日(火)・17日(火)  
24日(火)・31日(火)

※図書室では、利用者から本のリクエストを受け付けています。また、ご家庭で不要となった本をリサイクル図書などとして活用しています。詳しくはスタッフまでお尋ねください。

問 広野町図書室 ☎0240-27-3211 e-mail: hirono-library@abelia.ocn.ne.jp

# INFORMATION ~まちからのお知らせ~

## 広野町ふるさと創生大学通信 vol. 2

### ●「第2回 広野町ふるさと創生大学」を開催しました。

8月号から掲載を開始しているこの「広野町ふるさと創生大学通信」。

今回は8月30日に開催した第2回の講義風景を掲載いたします。

第2回講義は、劇作家・演出家でふたば教育復興応援団 平田 オリザ 先生による「新しい広場を作る ー福島自立は可能かー」と題して開催されました。

今回は東日本大震災ならびに福島第一原子力発電所事故後の地域づくりや地域活性化をどのように進めていったらよいかということ全国の事例を紹介しながらの講義でした。



ふたば未来学園高等学校の生徒もたくさん参加した、第2回目講義の様子。

### ●「第1回 広野町ふるさと創生大学」受講生から感想が寄せられましたので何件かご紹介いたします。

講義：「みちのく古代史から見た広野の立ち位置」  
講師：福島県考古学会顧問、元広野町町史編集室長 渡邊 一雄 先生

・大変面白くもって聞きたいと思いました。年1回ではもったいないので続けていろいろな歴史についてお話をお聞きしたいと切に思いました。

た。先生が編纂された広野町史『通史』も読んでみたいと思っています。

・広野が時代によって警城に入ったり、双葉に入ったりとそのような位置にあったことを、地域を広い域からの視点で話を聞かせていただき、勉強になりました。町を正しく知る一助になっていると思います。若い方にも正しく伝えていくことが町の伝統を守り、再生させていくことにつながっていくと思います。

・広野の立ち位置という行政区的なアプローチで、古代における、警城、常陸の地理について知ることができたのは、新鮮な発見があった。町の歴史としては、文化や人々の生活の様子を知ることができれば興味があります。来年度以降も渡邊先生にご教示願いたい。

・普段考えもしない歴史を聞いた事は、貴重な事でした。警城、日立、広野と同じ国であったのだなど、いろいろな話を聞いて良かったです。

・グローバルな世界にするには、地元を深く知り、世界に出た場合「あなたの国、町の良いところはどこですか？」の問いに答えられる人材が必要となる。そのための布石となる講義になるとよいと思います。

・数十年ぶりに授業を受けることができとても良い経験ができました。広野町について、その周辺地域について興味深い授業でした。今回だけではなく、また、渡邊先生の講義を聞きたいと思いました。

・広域的な話が面白く感じた。特に、私自身茨城県出身なので自分の県にまで触れた部分の解説がとても勉強になった。

・奥深い話で大変良かった。広野も昔から宿場町で栄えたことがわかった。

・広野町（地方）の成り立ちが少しわかったように思います。できれば古代での国の様子を年代ごとに図示してもらった方がよりイメージすることができたと思います。

・久ノ浜で数年前に復活させたという『天馬船』は、本日の先生のお話に出てきた『伝馬制』に関連しているのでしょうか？

問 広野町生涯学習課（公民館内）  
☎0240-27-3244